



みなさん、こんにちは。

業務紹介第17弾として、北海道農業分野の業務内容を、北海道開発局札幌開発建設部農業計画課加藤技官（入省4年目）より語っていただきました！



加藤技官（入省4年目） ※写真右端

担当する篠津運河中流地区内の農産物販売所を視察

1. 北海道農業業務の国交省における役割を教えてください。

北海道で農業農村整備事業の企画・調整・調査・工事等を行っています。

では、その農業農村整備とは何かというと、「農地で必要な農業用水を確保するためのダムや堰の建設、営農条件を改善するための水田、畑の整備、農産物などを運搬するための農業用道路の整備、農村の環境整備などを行っている事業の総称」（農水省 HP より）です。農〇というワードがいくつも出てきていますが、ここは国交省の業務紹介ページで間違いありません。というのも、北海道の国営規模の農業農村整備事業は、北海道総合開発計画の推進のため、農水省ではなく国交省が担当しているのです。私も官庁訪問少し前まで、国交省で農業の仕事があるとはつゆほども知りませんでした。

2. 現在の目玉施策を教えてください。

私の担当業務に関するものを3つほど挙げておきます。

- ・担い手への農地の集積・集約化
- ・スマート農業の推進による生産コスト削減を通じた農業競争力の強化
- ・高収益作物への転換、産地形成を通じた産地収益力の強化

3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

私は農業農村整備事業の中の国営かんがい排水事業（農業の生産性の向上や農業構造の改善等に資することを目的として、農業生産の基礎となるダムや幹線用排水路等の整備を行う事業）の調査計画を担当しています。具体的には、国営かんがい排水事業篠津運河中流地区の必要性を地元関係者等に説明する資料の作成や事業を行うことで見込まれる効果の算定等です。



地区の遠景



地区内で栽培しているレタス

4. 苦勞する点や、やりがいについて教えてください。

限られた時間のなかで、審査に耐えられる精度の資料を作成するというのがとても大変です。調査計画は資料作成がメインの仕事であり、工事現場と違って物を作らない分、資料内容を細かなところまでいくらかでも詰めていくことができ、やり方次第では仕事が終わらなくなります。このため、要点やポイントを見極めることが重要なのですが、整理が不十分では見落としが多く、また反対に細かく詰めすぎることもあり、加減が難しいです。

やりがいは、農業部門の仕事の特徴の一つでもあります。聞き取り調査等で地元関係者と直接やりとりする機会が比較的多く、事業への期待や感謝の声が直接聞けることです。また、仕事終わりの飲み会もやりがいの一つなので、コロナが落ち着いてくれると嬉しいです。

5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

国交省でも農業の仕事があるということを知ってもらって、国交省の農業部隊の知名度が上がったら幸いです。いつかどこかであつたら、その時はご飯にでも行きましょう。